

序

本研究所は、2011年度「がんの転移・薬剤耐性に関わる先導的共同研究拠点」として、文部科学大臣より全国共同利用・共同研究拠点到認定されました。「がんの転移・薬剤耐性＝がん悪性進展過程」の制御を目指し、研究所ネットワーク国際シンポジウムの国立大学の医系の附置研究所との共催などを通して、国内外の多数の大学や研究機関の関連研究者と密接な連携のもと、がん克服を目指した研究を、本研究所では精力的に行っています。

このような関連研究分野の研究者との連携を深化させる試みの一つとして、同じく共同利用・共同研究拠点到認定されている富山大学和漢医薬学総合研究所とのジョイントセミナーを、これまでに2012年1月18日と7月19日の2回開催いたしました。和漢医薬学総合研究所と本研究所とでは、研究対象・研究方法に若干の違いがありますが、両研究所ともに疾患の克服＝創薬という大きな目標においては一致することから、これまでのセミナーは双方にとって実りの多い、有意義なものでありました。

これを受けて、本年2月14・15日の両日には金沢エクセルホテル東急にて、「アカデミア創薬の心・技・体」のタイトルで、金沢大学重点戦略経費の補助を受け、第3回目の合同セミナーを開催いたしました。ラスカー賞受賞者の遠藤章先生ならびに東大・先端研の児玉龍彦先生からは、創薬研究のみならず基礎研究を進める上で欠かせない「心」「技」「体」に関する独自のお考えを含んだ特別講演を承ることが出来、すべての参加者が感銘を覚えたのではないかと思います。さらに、アカデミア創薬に向けた両研究所の取り組みが紹介されるとともに、国内の産学官における創薬研究に向けた基盤やIT技術の創薬への応用などに関する最新の情報が紹介されました。

今回のセミナーでは、両研究所のみならず、学内外から100名近くの研究者が参加していたことから、研究所間のみならず、関連領域の研究者を含めた金沢大学・富山大学間での、創薬を目指した共同研究の推進が期待されました。

両研究所とも、このような機運がさらに具体化するために、ジョイントセミナーの開催などを通して尽力する所存です。皆様方の従前以上のご理解と、暖かいご支援・ご協力をお願いいたします。

金沢大学 がん進展制御研究所 所長 向田 直史